

2013年11月5日

京都部ワイズメンズクラブメンバー各位

京都部部長 桂厚子
京都部地域奉仕環境事業主査 川上孝司
京都部広報主査 八木悠祐

2013 ワイズデー「京都バリアフリーコンサート」の御礼

平素はワイズメンズクラブの活動にご理解ご協力を賜り、誠に有難うございます。

また、この度は「京都バリアフリーコンサート」へご協力、ご参加、本当に有難うございました。

京都部各クラブ様には、今期はじまって以降、この「京都バリアフリーコンサート」にクラブ支援金、企業・個人協賛金、チケット販売、そして当日のお手伝いに至るまで、大変なご負担をお掛けし申し訳ございませんでした。そして、全てにわたりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。オール京都部で参画でき、ワイズメンズクラブの良さが伝わるようなワイズデーにしたいとの思いのもと、準備してまいりました。そして昨日、無事コンサートを終える事ができ、安堵いたしております。当日は500名を越える方々にご参加いただき、多くの感謝の声を頂く事ができました。特に、ワイズメン以外の方々にたくさん参加いただき、ワイズメンズクラブの良さ・温かさを感じていただけたのではないかと嬉しく思っております。

当日にいたるまで、不行き届きな点が多々ございましたが、実行委員の皆様のフォローとワイズメンの優しさのもと、無事コンサートを終える事ができました。改めてワイズメンズクラブの素晴らしさ、京都部の結束の強さを感じております。

今期もまだまだ事業は続きますが、変わらぬご協力とご支援の程、宜しくお願い致します。

この度は誠に有難うございました。

障害ある音楽家ら熱演

南区でコンサート 600人音色聞き入る

「京都バリアフリー—京都市南区の京都テルコンサート」が4日、サで開かれ、障害のあるミュージシャンや慈善活動に取り組む歌手らが清らかな音色を届けた。



「京都バリアフリーコンサート」でシンセサイザーを演奏する弥生さん(左)―京都市南区・京都テルサ

るミュージシャンや慈善活動に取り組む歌手らが清らかな音色を届けた。

Y M C Aの支援事業などを行うワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部が、活動を知ってもらおうと企画した。司会はラジオパソンナリティーの佐藤

弘樹さんが務めた。

舞台では、2歳で失明したシンガー・ソングライターの長谷川きよしさんがギターを弾きながら、代表曲「別れのサンバ」などを熱唱。手足に障害のあるシンセサイザー奏者弥生さんや、かつて久保田早紀のアーティスト名で活動した音楽宣教師久米小百合さんも出演し、来場者600人が聞き入った。

(大西幹子)